

学校教育目標	【か】よく考え 【な】なかよく 【が】がんばる 【わ】わたしたちかなっ子				
	【か】 自らすすんで問題を見つけ、よく考えて判断して行動し、豊かに表現できる子どもを育てます。(知) 【な】 自分や他者のよさを認め合い、個性を發揮しながら他者と豊かにかかわり合う子どもを育てます。(徳) 【が】 自分の心と体に関心をもち、すすんで健康保持に努めるとともに、体力の向上を目指す子どもを育てます。(体) 【わ】 自分が住む神奈川の「まち」について理解を深め、「まち」とともに育ち「まち」に貢献する子どもを育てます。(公) 多様な文化やひとの存在を理解し、視野を広げて共によりよく生きようとする子どもを育てます。(開)				
学校概要	創立 144 周年	学校長 益子 照正	副校長 楠田 融	3 学期制	一般学級: 14 個別支援学級: 3
	児童生徒数: 410 人 主な関係校: 浦島丘中学校、子安小学校、浦島小学校				

教育課程全体で育成を目指す資質・能力	浦島丘中ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
自己決定力 かかわり合う力 健やかな心とからだ	浦島丘中学校 子安小学校 浦島小学校	人とのつながりを大切にし、ねばり強く社会を生き抜く子 「人と人とのつながりを豊かにする社会性」、「課題解決能力」、「創造力と発信力」の3つの共通理解をもとに「ねばり強く社会を行く抜く子」を目指す。 具体的には、年間2回の小中合同授業研究会を通して9年間で育てる子ども像の意識を共有する。また、年間4回の中学校ブロック担当者会において、教育方針を調整する。さらに、児童生徒交流日を設定して児童生徒の小中接続意識化を図る。

中期取組目標	★★【か】よく考え ★★【な】なかよく 【が】がんばる ★【わ】わたしたちかなっ子 授業改善を核とし、子どもの自己決定を保障する取組を継続的に行うことで、自らすすんで問題を見つけ、よく考えて行動する子どもを育てます。 様々な場面で子どものよさを価値づけることを通じて目標モデルを確立し、また、授業や活動では子どもがかかわり合う場面を保障し、他者と豊かにかかわり合う子どもを育てます。 幼・保・小・中学校、家庭、地域と連携し、それぞれのニーズに応える学校づくりを推進します。
---------------	--

重点取組分野	具体的取組
生きて働く知	①学校生活では高学年の行動を、授業場面ではよい考えをモデルにするように努め、子どもの自己決定の指標を明確化する。結果にとらわれずに過程を評価する指導法を定着させる。②授業研究会を核にして授業力向上に努め、「主体的・対話的で深い学び」を実現する指導力を身に付ける。
担当 研究推進委員会	
豊かな心	①朝会や集会等の場で定期的に「人とかかわり」について全校児童に話題提供しする。また、トラブルの原因となるSNSの存在・使用方法等について保護者の意識改善を啓発する。②生活科・総合的な学習を中心に「ひと」との出会いを学習過程に組み込み、他者から学ぶ場面を増やす。
担当 人権・道徳・環境部	
健やかな体	①体力テストの結果を活用しながら、委員会活動等から児童主体の取組を奨励し「長なわ集会」等の全校で行う取組を定期的実施する。②学校保健委員会で取り上げるテーマについて、子どもの生活に即した課題を設定し、実生活で活かせる内容として位置付ける。
担当 体育部・学校保健	
地域との協働	①地域祭礼や行事に職員が積極的に参加する姿勢を示すほか、学校運営協議会を通して今日的な課題を共有し、地域と学校との双方向の理解を深め、さらなる協力体制を築く。②地域人材に依頼して学習場面に積極的に参加してもらえる体制を確立し、まちぐるみで児童を育てる。
担当 教務部	
児童理解・児童指導	①職員会議等を活用し、全職員が児童の特性や課題を共有し、個に応じた適切な指導を一本化することに努める。②学校だよりや学校説明会、懇談会などの機会を活用して、保護者に学校の目指す教育的価値を積極的に発信する。
担当 児童指導部	
幼保小連携	①近隣幼稚園・保育園との授業参観を双方向で行い、接続が円滑に進むように情報を共有し、交流会を設定する。また、その取組について幼保小連携事業を活用して具体的に発信する。②幼児教育機関に学校側が外向き、学校の教育方針を説明するとともに、入学後の安心を構築する。
担当 幼保小連携担当	
行事の見直し	①学校教育目標の「見える化」を図り、変更する行事等の意図について児童・保護者・地域等に対して学校教育目標との関連を示す。②見直し後初めて実施する体験学習、遠足等の行事を学校教育目標に照らし、次年度への具体的修正箇所を検証する。また、次年度以降の計画を具体化する。
担当 教務部	
担当	
いじめへの対応	①学級担任を核に学年職員、児童支援専任と情報を綿密に共有し、きめ細やかな支援体制を整えて組織として迅速に対処する。②研修を受けた者が全職員に対していじめの兆候について発信し早期発見に努める。また、発生してしまった場合の保護者対応など、組織で入念に共通理解を図る。
担当 児童指導部	
人材育成・組織運営(働き方改革)	①子どもが主体的に学ぶ授業や細やかな児童理解等の指導について、また組織としての分掌について、校内研修を計画的に行い、経験の浅い職員をサポートする。②働き方改革プロジェクトチーム主導により、本校の実態に即した改革法を見出し、実施検証する。③計画年休を推奨し、見直しをもって業務を調整して休暇等を取得できるようにする。
担当 教務部	